

路面電車優先システム

1. 事業概要

路面電車の優先システムは、平成23年春の九州新幹線全線開業に合わせて、熊本駅・上熊本駅から中心市街地への市電の利便性を高めるために、熊本駅～辛島町間の約2.2kmと上熊本駅前～辛島町間の約2.9kmにおいて整備を行い、平成23年3月1日から運用を開始した。

◇事業内容

電車の接近を感知装置（光ビーコン）によって感知し、電車が信号機のある交差点に接近すると、電車の進行方向が青信号の場合には青信号時間を長くし、赤信号の場合には赤信号時間を短くして市電の信号停車時間を減らし、市電のスピードアップを図るものである。

◇事業効果

システム導入前で、熊本駅前～辛島町は約11分、上熊本駅前～辛島町は約14分30秒要していたが、県警の試験調査によると、平均で約30秒、最大で約1分30秒程度短縮。

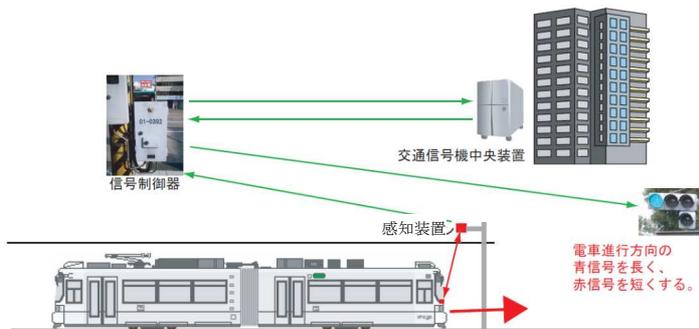
※参考：県警資料より

区間	距離	制御交差点	光ビーコン
熊本駅前～辛島町	約2.2km	11箇所	10基
上熊本駅前～辛島町	約2.9km	7箇所	8基

2. 事業スケジュール

- ◆平成20年度 設計（熊本市）
- ◆平成21年度 市電車両に車載機設置（熊本市）
- ◆平成22年度 受信機用支柱の設置（熊本市）
光ビーコン感知器の設置、交通管制システムの改修（熊本県警）
平成23年3月1日運用開始

○路面電車優先システムのイメージ



○路面電車優先システムの導入区間

